

広告掲載料金表

発行日	毎月20日
体裁	B5判
定価	1,020円(税込)
発行部数	120,000部
スペース申込み締切日	発行前月10日
原稿締切日(4色)	発行前月15日
原稿締切日(1色)	発行前月20日

掲載面	スペース	サイズ	掲載料金
表紙	2 4色1頁	天地257mm×左右182mm	630,000円(税抜き600,000円)
	3 "	同上	577,500円(税抜き550,000円)
	4 "	天地240mm×左右172mm	735,000円(税抜き700,000円)
オフセット	4色1頁	天地257mm×左右182mm	525,000円(税抜き500,000円)
オフセット	1色1頁	天地242mm×左右172mm	241,500円(税抜き230,000円)
	1色2頁	天地242mm×左右354mm	468,300円(税抜き446,000円)
	1色1/2頁	天地115mm×左右150mm	126,000円(税抜き120,000円)

1/2頁の原稿には囲みケイをつけてください。掲載頁の指定はご容赦ください。
掲載料金は完全原稿の場合の料金です。ラフ原稿の場合は制作費をいただきます。
掲載料金のお支払いはスペースお申込時にお願いたします。

振込先:みずほ銀行 九段支店 当座預金 9335 (株)サロンエージェンシー
三菱東京UFJ銀行 神保町支店 当座預金 1171483 (株)サロン・エージェンシー
三井住友銀行 飯田橋支店 当座預金 6550280 (株)サロン・エージェンシー

原稿入稿時の注意事項

製版ポジ制作時のスクリーン線数は、4色 = 175線・1色 = 133線(膜面裏)です。
データ入稿の際は、必ず弊社指定の「DTP入稿仕様書」にご記入の上、出力見本を添付してください。
Mac版で作成したデータ以外は、お受けできませんのでご注意ください。

玄光社専属広告代理店 株式会社 **サロン・エージェンシー**
東京都千代田区飯田橋4-1-5 玄光社ビル 〒102-0072
PHONE: 03-3264-8477 FAX: 03-3264-8495
e-mail salon_ag@genkosha.co.jp URL <http://www.genkosha.co.jp/vs/>
〔発行〕株式会社 玄光社 東京都千代田区飯田橋4-1-5 〒102-8716

豊富な取材と
執筆陣でお送りする
デジタル時代の
A▽専門誌です。

撮る！見る！創る！デジタル映像活用マガジン

ビデオSALON

媒体
資料

& 広告掲載料金表

読者の要望に応える編集方針で 動きの速いデジタル時代の最新情報を 的確に伝えます。

ビデオサロンは、読者からの「信頼」が財産です。

ビデオサロンはビデオ撮影から編集、そしてエアチェックにホームシネマなど、「趣味の映像」を核としたオーディオ・ビジュアルの専門誌として、長い間、読者から支持されてきた伝統のある雑誌です。(創刊は1980年11月)常に読者の側に立った記事作りを心がけ、専門誌にとって最も大切な「読者からの信頼」を得ています。

ビデオサロンの記事には大きく6本の柱があります。

新製品の紹介&テストレポート、撮影&編集のノウハウ特集と連載記事、DVノンリニア編集関連の特集と連載、エアチェックからホームシネマまでのオーディオ&ビジュアル特集、業務用機材の紹介、読者による読者のための情報頁、というのがメイン記事です。

ハード情報だけでなく、どう使いこなすかといったソフト情報も特集や連載記事でカバーしています。中でも、専門家による正確で分かりやすい新製品情報とテストレポートはいつも大人気です。

読者はAVを「趣味」にしている30代、60代が中心です。

撮影をしたり、編集をしたりエアチェックをしたり、ビデオを大画面で鑑賞したり…。趣味のAVの守備範囲は広いもの。その中でビデオサロンの読者は、充実したAVライフを過ごそうとしている方がほとんどです。

「趣味の充実」には二つの方法があります。ひとつは最高の画質やいい音を求めること、二つ目は自ら撮影や編集技術を向上させること。それらを満たすには、専門誌の高度な情報が必要となります。

意気盛んな30代と、余暇を楽しむ50～60代がメインの読者層というのも、その点を裏付けています。

読者は正確な最新情報を求めています。

最高のAV機器を使いたい。そう考える読者が大多数です。ですから新製品情報には注目し、購入する価値はあるのかを判断するため、様々な情報を記事だけではなく広告頁からも得ています。オーディオ&ビジュアル機材の「情報入手拠点」としてビデオサロンをご利用いただいております。

パソコンを使ったデジタル編集には読者のほとんどが注目しています。

DVノンリニア編集に対応するパソコンの登場により、今や、読者の興味は放送局並のデジタル編集です。製品情報から編集ソフトの使いこなしまで、システム化に取り組んでいます。その要望に応えるため、これまで以上に、積極的に機材やソフトを紹介していきます。

業務用の機材紹介も特徴のひとつアマチュアにも分かりやすいと好評。

プライダ、CATV、企業内ビデオ、ハイアマチュアに使われる業務用のビデオカメラや編集機などの新製品紹介記事もビデオサロンの守備範囲です。なかなか手に入りにくい業務関係の最新情報を分かりやすく紹介しているのが人気の理由です。

MEDIA DATA

職業別読者層

会社員	41.9%
自営業	17.3%
公務員	11.4%
大・専門学校生	4.8%
中・高校生	4.4%
その他	20.2%

地域別読者層

関東	22.0%
近畿	17.2%
四国・九州・沖縄	15.6%
中部	14.8%
東京	13.4%
東北	7.0%
中国	5.1%
北海道	4.9%

年齢別読者層

30代	25.0%
60代	23.7%
40代	22.6%
50代	12.3%
20代	8.2%
10代	5.9%
70代以上	2.3%



読者の興味と関心度

デジタルビデオカメラを所有している

YES	82.5%
NO	17.5%

ビデオ編集の経験がある

YES	90.2%
NO	9.8%

ノンリニア編集に興味あり

YES	91.3%
NO	8.7%

ノンリニアパソコンの購入予定

あり	32.2%
検討中	38.3%
なし	29.5%